

世界の標準的なガイドラインと歯内療法専門医の臨床から学ぶ

歯牙破折の 分類・診査・診断・マネジメント

NEW

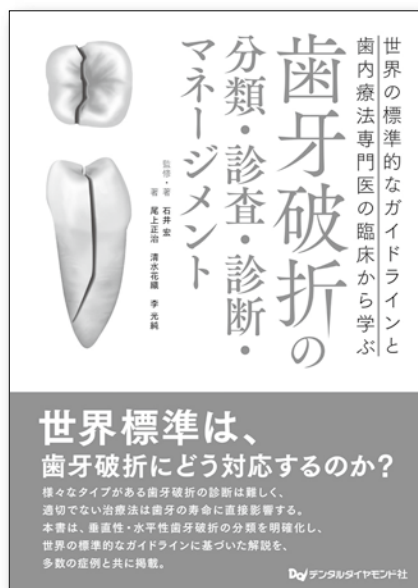
【監修・著】石井 宏（東京都開業） 【著】尾上正治・清水花織・李 光純

世界標準は、歯牙破折にどう対応するのか？

歯牙破折を体系的にまとめた類書は少ない。歯牙破折には、様々なタイプがあり、診断の間違ひは適切でない治療法の選択につながり、破折歯牙の寿命に直接影響がでます。本書は、垂直性・水平性歯牙破折において分類を明確化し、各カテゴリーにおいて診査・診断・治療について、エビデンスに基づいた具体的な解説を行っています。

最後の第4章では、実際の対応をイメージしていただくため、症例集としてできるだけ多くの症例も掲載、今後の臨床におけるアプローチの参考になれば幸いです。

A4判・146頁・オールカラー 本体8,000円＋税



CONTENTS

第1章 世界基準のガイドラインと日本の現状を 歯内療法的観点から比較・考察する

- I 研究と臨床
- II 歯根破折歯の接着・再植術について

第2章 垂直性歯牙破折

- I 垂直性歯牙破折とは
- II 垂直性歯牙破折の増加
- III “クラック”と“破折”について
- IV 垂直性歯牙破折の診査・診断の意義
- V 垂直性歯牙破折の分類
- VI 垂直性歯牙破折の分類名
- VII 各診査方法
- VIII クラックの典型的な兆候と診断における困難性
- IX 垂直性歯牙破折の診断とマネジメント

第3章 水平性歯牙破折

- I 概論と分類
- II 水平性歯牙破折全般の診査ポイント
- III 各論 病態と治療法
 - 1. (1) 亀裂、エナメル質破折
 - 2. (2) -Aエナメル質象牙質破折（露髄を伴わない）
 - 3. (2) -Bエナメル質象牙質破折（露髄を伴う）
 - 4. (3) 歯冠歯根破折
 - 5. (4) 歯根破折

第4章 症例集

垂直性歯牙破折
水平性歯牙破折

